

世論は反対多数、憲法違反の「国葬」は中止を！

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049

安倍元首相の「国葬」に反対の声が日増しに大きくなってきました。9月16日夜、奥州市内でも、「国葬」に反対する市民集会が開催されました。

この「国葬」反対市民集会には、緊急の呼びかけにもかかわらず約100人が参加しました。これは、胆江労連や胆江民主商工会、新日本婦人の会水沢支部、全日本年金者組合胆江支部、日本共産党奥州市委員会などで行った実行委員会が呼びかけたものです。

午後6時から始まった集会では、主催者を代表し岩崎郁郎実行委員長（胆江労連議長）が、「岸田政権は統一協会とズブズブの関係の安倍氏をなぜ国葬にするのか説明していない。今こ



石田良夫弁護士は、今回の国葬は憲法違反であり、「国がおかしい時には国民が行動するというのが憲法精神だ」と主張しました。

沖繩出身の阿部敬子さんがマイクを握り「軍備拡大や辺野古の新基地建設等、アベ・スガ政治は沖縄県民にとって最悪だった。『国葬』は行うべきでない」と批判しました。

集会後、参加者はプラカードやペンライトでアピールしながら、奥州市役所からJR水沢駅前までデモ行進しました。

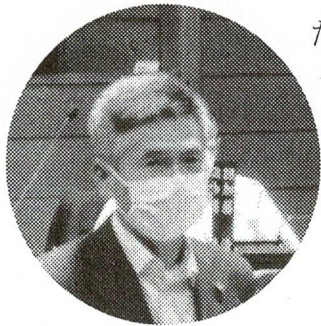


奥州市役所本庁舎玄関前にて

9月議会一般質問続報

新型コロナウイルス対策について

感染者急増に対応するため発熱外来診療所を設置すべきでないか？



今野裕文議員

倉成淳市長は、発熱外来を新たに設置すると、各医療機関から医師と看護師を引き抜くことになり効率的でないとし、現在PCR検査を行っている医療機関に、それぞれ検査件数を増やすこと、かかりつけ患者以外の検査を増やしていく医療機関を拡大することを医師会と協議したいと回答しました。

倉成淳市長は、各医療機関がワクチン接種に加え、相当量のPCR検査を行っていることから、医療従事者からは、夜間の実施は困難との回答を得ていると述べているとどまり、具体策に示されませんでした。

夜間接種は現状では困難！

発熱外来診療所の設置は効率的でない

小学生とその親世代のワクチン接種を急ぐべき

今野議員は、小中学生とその親世代のワクチン接種を急ぐために、金曜日の夜の接種体制を組むなど体制の強化と接種促進策を具体的に進める必要があるのではないかと質しました。

米価下落・資材高騰に対する更なる農家支援策は

倉成淳市長は、国際情勢や経済状況の変化による食料価格の高騰により「食料の国産化・産地化は奥州市にとって追い風になる」として引き続き必要な支援をすると述べました。

今野裕文議員は、米価下落や肥料等の高騰に対する農家支援策について、現在示されている対策では十分だとして、さらなる支援が必要だとして、倉成市長の見解をただした。

必要な支援を行う

今野議員は、9月2日、一般質問に立ち、新型コロナウイルス感染症対策、米価下落・水田活用交付金見直しについて質しました。



日本共産党
衆議院議員
高橋ちづ子

9月19日 国葬反対

そして再びりんご園地へ。

今日は戦争法強行採決から7年目の9・19、お昼に青森駅前のスタンディングに参加、一言訴えて、藤崎町へ。台風が九州から中国地方へと北上してきたようですが、今日は8月豪雨災害で壊滅的な被害をうけたりんご園地へ何度も通った弘前市大川地区の対岸にあり、園地そのものは大川地区の3倍も

Facebook より

9月19日

あるとか、高橋さん、こっちにもきて、と津軽農民組合の皆さんから要請があり、生産者に参加をよびかけてくれました。

